

中部巻頭

中部支局

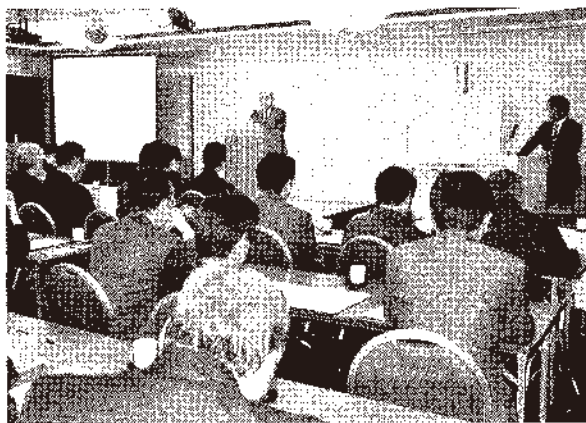
名古屋市中区栄3の28
の25HARADA栄南
302号
電 話052(269)0341
FAX052(269)0342

中部運輸局管内5県の
情報を報道しています

「知名度アップ課題」

静岡 UDタク研究会が会合

静岡県内でユニバーサルデザイン(UD)タクシーを導入または検討中の事業者がつくる静岡UDタク研究会(発起人川藤高立、塚本昭西氏)の第2回会合が静岡市内で開催された。写真、講演した静岡県の藤田博之くらし・環境部管理局政策監付(企画課長)が「ユニバーサルデザイン」の言葉を6割以上が認知している実態を明らかにする一方、静岡運輸支局の久保田素広運輸企画専門官は「UDタクシーが一般タクシーとしても認知されることが課題」と述べ、普及に向け取り組み方向を示した。



研究会の1部で、静岡県UDタクシーの現状」を藤田氏が「ユニバーサルデザインとは」、静岡運輸支局の久保田氏が「県内の

藤田氏はユニバーサルデザインのキーワードとして「だれもが使える、使いやすい、わかりやすい、安全、安心」と提示し、各分野を説明した。

個人タク試験に15人
交通関係では、名古屋
中部運輸局は16日、個人
タクシー譲渡受申請に伴
う法令・地理試験を実施し
た。申請16人のうち、1人
が取り下げ、15人が受験し

また「UDタクシーが一般タクシーとしても認知されるのが課題で、PRの際、福祉限定との誤解を避けなければならない」と喚起した。
2部では、最近1年間に導入した事業者が事例発表

した。
千代田タクシーの担当乗務員は「お客さまの反応は、明るい時間帯だと、車内は広く快適だから、小型料金を得た気分になる、といわれる。しかし、アルコールの入った時間帯になると、小型を頼んだのにどうして大型が来るんだ、白い救急車みたいな車を頼んだ覚えはない、まだ介護の車の世話にはなりたくない、といった誤解による反応がある。ただ、今後はUDが次世代を担うタクシーにな

観光ガイド乗務員認定



岐阜市周辺観光タクシー11年度観光講習会を開催し、今年度初めての乗務員の観光知識を問う試験を実施し

た。40人が参加し、全員が合格。観光ガイド乗務員として認定した。
買頭、協議会の澤井会長は「今年、岐阜では秋に団体が開催されるほか、長良川に『つかいミュージアム』も完成する。さまざまイベントで訪れた人に、岐阜の観光はよかった、と言ってもらえるようにしたい」とあいさつした。
接客講習では、トヨタエントラープライズの棚瀬あづさ氏が「CS向上の接客マナー」と題して研修した。参加者のあいさつの様子をビデオで撮影し、表情や声の大きさなど第一印象の重要さを学んだ。